

令和3年度使用

教科用図書選定資料

中学校用

令和2年6月
大阪府教育委員会

本資料は、令和3年度から使用する中学校教科用図書について、種目ごとに調査研究を行い、選定資料として、「学習指導要領」とともに【資料1】・【資料2】を示しています。

- ・【資料1】は、「1目標・内容の取扱い」「2人権の取扱い」「3内容の程度」「4組織・配列」「5創意工夫」「6補充的な学習・発展的な学習」の項目別に学習指導要領に基づき定めた観点について、各教科用図書の特長・長所等を記載しています。
- ・【資料2】は、学習指導要領に示されている各教科の目標等を踏まえ、各種目の特性に応じた教科用図書の特色が明らかになるよう客観的な数値データ等を記載しています。

目次

学習指導要領		【資料1】	【資料2】
総則	総1～9		
国語	国1～8	国9～20	国21～22
書写		書1～8	書9～11
社会 (地理的分野)	地1～6	地7～16	地17～18
社会 (歴史的分野)	歴1～8	歴9～24	歴25～26
社会 (公民的分野)	公1～6	公7～17	公18～21
図画		図1～7	図8～9
数学	数1～9	数10～22	数23
理科	理1～14	理15～25	理26～28
音楽 (一般)	音1～6	音7～13	音14～15
音楽 (器楽合奏)		器1～7	器8
美術	美1～5	美6～14	美15～16
保健体育	保1～11	保12～19	保20
技術・家庭 (技術分野)	技1～5	技6～12	技13～15
技術・家庭 (家庭分野)	家1～5	家6～12	家13～14
英語	英1～7	英8～20	英21～22
道徳	道1～3	道4～13	道14～15

国語

学習指導要領（国語）	1～8
資料 1	9～20
資料 2	21～22

発行者の 番号・略号	書 名	著作者	資料中 の表記
2 東 書	新しい国語	相澤 秀夫 野矢 茂樹 ほか 76 名	東 書
15 三省堂	現代の国語	中列 正義 ほか 36 名	三省堂
17 教 出	伝え合う言葉 中学国語	児玉 忠 植山 俊宏 丹藤 博文 ほか 45 名	教 出
38 光 村	国語	甲斐 睦朗 高木 まさき ほか 28 名	光 村

項 目	観 点
1 目標・内容 の取扱い	国語科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。 ○ 社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことについて ○ 人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことについて ○ 言葉がもつ価値を認識し、言語感覚を豊かにし、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図ることについて
2 人 権 の 取 扱 い	人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。 ○ 人権への配慮について ○ 国際理解や国際協調について ○ ユニバーサルデザインに関する配慮について
3 内容の程度	生徒の発達段階を考慮した内容になっているか。 ○ 題材に対する興味・関心、文章の記述や分量について ○ 写真、挿絵、図、表などの資料について ○ 古典や言葉の働きなどの言語文化に関する事項について
4 組織・配列	各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。 ○ 単元配列について ○ 単元構成について ○ 写真、挿絵、図、表などの資料について
5 創意工夫	言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。 ○ 活動場面の設定や多様な学習活動の組み合わせについて ○ 学校図書館や情報機器を活用することについて
6 補充的な 学 習・ 発展的な 学 習	学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、自分の考えを深めたり伝えたりにして、社会生活に生かすよう配慮されているか。 ○ 資料やコラムなど ○ 読書に親しみ、連んで学習や生活に生かすことについて

項 目	観 点
1 目標・内容 の取扱い	国語科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。 ○ 社会生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことについて ○ 人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことについて ○ 言葉がもつ価値を認識し、言語感覚を豊かにし、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図ることについて
発行者	○ 社会生活に必要な国語の知識及び技能について各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。特に、情報の扱い方については「学びの扉」や「学びを支える言葉の力」などにおいて取り扱われており、全体を通じて学べるようになっている。
東 書	○ 「話す・聞く」「書く」「読む」「読む」の各言語活動において、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっている。 ○ 言葉がもつ価値を認識し、言語感覚を豊かにし、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図ることができるよう、適切な内容が取りあげられている。
三省堂	○ 社会生活に必要な国語の知識及び技能について各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。特に、情報の扱い方については各学年で単元として設定された「情報を関係づける」や各教材の後の「思考の方法」などにおいて取り扱われており、全体を通じて学べるようになっている。 ○ 「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動において、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっている。 ○ 言葉がもつ価値を認識し、言語感覚を豊かにし、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図ることができるよう、適切な内容が取りあげられている。

【資料 1 国語】

項目	観点
2 人権の 取扱い	人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。 ○ 人権への配慮について ○ 国際理解や国際協調について ○ ユニバーサルデザインに関する配慮について
発行者	事 項 ○ 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、多様性、キャリア教育などSDGsとも関連させて、教材が取り上げられている。
東 書	○ 国際理解や国際協調について、適切に扱われている。例えば、3年「恩返し」の井戸を掘る」などの教材が取り上げられている。 ○ すべての生徒にとって使いやすくなりやすいよう、フォントや文字のレイアウトや図等の配色などに配慮されている。
三省堂	○ 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、多様性、キャリア教育などSDGsとも関連させて、教材が取り上げられている。 ○ 国際理解や国際協調について、適切に扱われている。例えば、3年「希望」などの教材が取り上げられている。 ○ すべての生徒にとって使いやすくなりやすいよう、フォントや文字のレイアウトや図等の配色などに配慮されている。
教 出	○ 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、多様性、キャリア教育などSDGsとも関連させて、教材が各学年で単元を設けて取り上げられている。 ○ 国際理解や国際協調について、適切に扱われている。例えば、2年「紙の建築」などの教材が取り上げられている。 ○ すべての生徒にとって使いやすくなりやすいよう、フォントや文字のレイアウトや図等の配色などに配慮されている。
光 村	○ 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、多様性、キャリア教育などSDGsとも関連させて、教材が取り上げられている。 ○ 国際理解や国際協調について、適切に扱われている。例えば、3年「エルサルバドルの少女 ヘスース」などの教材が取り上げられている。 ○ すべての生徒にとって使いやすくなりやすいよう、フォントや文字のレイアウトや図等の配色などに配慮されている。

【資料 1 国語】

教 出	○ 社会生活に必要な国語の知識及び技能について各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。特に、情報の扱い方については各学年で複数の箇所を設定された「メディアと表現」の単元や、「学びナビ」などにおいて取り扱われており、全体を通じて学べるようになっている。 ○ 「話す・聞く」「書く」「読む」「読む」の各言語活動において、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっている。 ○ 言葉がもつ価値を認識し、言語感覚を豊かにし、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図ることができるよう、適切な内容が取り上げられている。
光 村	○ 社会生活に必要な国語の知識及び技能について各教材を通じて適切な内容が取り扱われている。特に、情報の扱い方については「情報社会を生きる」「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」などにおいて取り扱われており、全体を通じて学べるようになっている。 ○ 「話す・聞く」「書く」「読む」「読む」の各言語活動において、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっている。 ○ 言葉がもつ価値を認識し、言語感覚を豊かにし、言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図ることができるよう、適切な内容が取り上げられている。

項目	観 点
3 内容の程度	生徒の発達段階を考慮した内容になっているか。 ○ 題材に対する興味・関心、文章の記述や分量について ○ 写真、挿絵、図、表などの資料について ○ 古典や言葉の働きなどの言語文化に関する事項について

発行者	事 項
東 書	○ 生徒にとって、興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている。 例えば 1 年生では、登場人物が生徒と同世代の物語文がはじめに取りあげられている。また説明文では、動物の生態やニュースの見方などの題材が取りあげられている。 3 年生では、「何のために『働く』のか」において、生き方や働き方について考える題材が取りあげられている。 ○ 写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものになっている。 ○ 言語文化に関して、「漢字」「語彙」「文法」など、発達段階に応じた内容で適切に配置されている。 古典についても、発達段階に応じて理解しやすいよう配慮されている。1 年生では、「御伽草子」の「浦島太郎」の話を導入とし、「伊曾保物語」「竹取物語」「矛盾」が扱われている。2 年生では、「枕草子」「徒然草」「平家物語」「漢詩」が扱われている。「枕草子」「徒然草」の冒頭部分は原文の横に現代語の意味が示されている。「平家物語」の冒頭部分は原文と現代語訳が示されている。3 年生では、「万葉・古今・新古今」「おくのほそ道」「論語」が扱われている。
三省堂	○ 生徒にとって、興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている。 例えば 1 年生では、空想的な題材の物語文がはじめに取りあげられている。また、説明文では、動物の生態、住居などの題材が取りあげられている。 3 年生では、「『文殊の知恵』の時代」において、現代社会で必要とされる力について示し、これからの生き方について考える題材が取りあげられている。 ○ 写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものになっている。 ○ 言語文化に関して、「漢字」「語彙」「文法」など、発達段階に応じた内容で適切に配置されている。 古典についても、発達段階に応じて理解しやすいよう配慮されている。1 年生では、解説「月を思う心」を導入とし、「竹取物語」「矛盾」が扱われている。2 年生では、「枕草子」「徒然草」「平家物語」「漢詩」が扱われている。「枕草子」「徒然草」「平家物語」の冒頭部分は原文と現代語訳が示されている。3 年生では、「万葉・古今・新古今」「おくのほそ道」「論語」が扱われている。

教 出	○ 生徒にとって、興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている。 例えば 1 年生では、登場人物が生徒と同世代の物語文がはじめに取りあげられている。また、説明文では人間の脳、森林の働きなどの題材が取りあげられている。 3 年生では、「バースデー・ガール」など、生きることの意味を考える題材が取りあげられている。 ○ 写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものになっている。 ○ 言語文化に関して、「漢字」「語彙」「文法」など、発達段階に応じた内容で適切に配置されている。 古典についても、発達段階に応じて理解しやすいよう配慮されている。1 年生では、「桃太郎」や「浦島太郎」の話を導入とし、「竹取物語」「矛盾」が扱われている。資料編では小倉百人一首が全て記載されている。2 年生では、「平家物語」「枕草子」「徒然草」「論語」が扱われている。「平家物語」「枕草子」「徒然草」の冒頭部分は原文と現代語訳が示されている。3 年生では、「おくのほそ道」「万葉・古今・新古今」「漢詩」が扱われている。
光 村	○ 生徒にとって、興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている。 例えば 1 年生では、登場人物が生徒と同世代の物語文がはじめに取りあげられている。また、説明文では野菜、鳥の生態などの題材が取りあげられている。 3 年生では、「三年間の歩みを振り返ろう～冊子にまとめて、発表会をする～」で「これまで」を振り返るとともに「これから」の生き方について語り合う題材が取りあげられている。 ○ 写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものになっている。 ○ 言語文化に関して、「漢字」「語彙」「文法」など、発達段階に応じた内容で適切に配置されている。 古典についても、発達段階に応じて理解しやすいよう配慮されている。1 年生では、「いろは歌」「竹取物語」「矛盾」が扱われている。2 年生では、「枕草子」「平家物語」「徒然草」「漢詩」が扱われている。「枕草子」「平家物語」「徒然草」の冒頭部分は原文と現代語訳が示されている。3 年生では、「論語」「万葉・古今・新古今」「おくのほそ道」が扱われている。

項目	観 点
4 組織・配列	各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。 ○ 単元配列について ○ 単元構成について ○ 写真、挿絵、図、表などの資料について

発行者	事 項
東 書	教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○ 各学年の目標や内容を踏まえて、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習できるよう、適切に単元が配列されている。 3年「絶滅の意味」は理科の学習内容と関連付けられ、各学年で「他教科で学ぶ漢字」のコーナーが設けられるなど、教科等横断的な視点も含めて配列されている。 ○ 単元構成については、「てびき」や「たすけ」で生徒が内容を整理し、読み深め、自分の考えを深め、学びの振り返りができるよう、学習の過程を示している。 ○ 文章の内容を補うような表・図・イラストなどの資料が効果的に使われている。単元ごとの扉のページには、教材や季節に合わせた写真と詩歌が掲載されている。また、3学年とも、絵巻物や地図など時代背景を理解する助けとなるカラー版の折り込みが、古典の単元に設けられている。
三省堂	教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○ 各学年の目標や内容を踏まえて、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習できるよう、適切に単元が配列されている。 2年「人間は他の星に住むことができるのか」は理科の学習内容と関連付けられていたり、1年「音声のしくみとはたらき」は外国語科の学習内容と関連付けられているなど、教科等横断的な視点も含めて配列されている。 ○ 単元構成については、「学びの道しるべ」で生徒が内容を整理し、読み深め、自分の考えを深め、学びの振り返りができるよう、学習の過程を示している。 ○ 文章の内容を補うような表・図・イラストなどの資料が効果的に使われている。単元ごとの扉のページには、教材や季節に合わせたカラーの挿絵が掲載されている。また、3学年とも、絵巻物や地図など時代背景を理解する助けとなるカラー版の折り込みが、古典の単元に設けられている。

教 出	教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○ 各学年の目標や内容を踏まえて、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習できるよう、適切に単元が配列されている。 全学年「持続可能な未来を創るために」では、複数の教科等で総合的に取り扱うことのできる内容が取りあげられていたり、1年「日本語の音声」は、外国語科の学習内容と関連付けられているなど、教科等横断的な視点も含めて配列されている。 ○ 単元構成については、「みちしるべ」で生徒が内容をつかみ、読み深め、自分の考えを伝えようという学習の過程を示している。 ○ 文章の内容を補うような表・図・イラストなどの資料が効果的に使われている。単元ごとの扉のページには、その単元で登場する印象的なフレーズが示されている。 また、3学年とも、SDGsについて扱った「持続可能な未来を創るために」の単元において、写真やイラストを活用し、各教材がどの目標と関連しているかを示している。
光 村	教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○ 各学年の目標や内容を踏まえて、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習できるよう、適切に単元が配列されている。 2年「クマゼミ増加の原因を探る」は理科の学習内容と関連付けられていたり、2年「翻訳作品を読み比べよう」は外国語科の学習内容と関連付けられているなど、教科等横断的な視点も含めて配列されている。 ○ 単元構成については、「見通しをもつ」「捉える」「読み深める」「考えをもつ」「振り返る」という学習の過程を示している。 ○ 文章の内容を補うような表・図・イラストなどの資料が効果的に使われている。単元ごとの扉のページには、季節に合わせたカラーの写真が掲載されている。また、3学年ともに、「思考の地図」と題した折り込みが設けられ、課題を解決したり、考えを深めたりするための方法が図や挿絵を交えて示されている。

項目	観 点
5 創意工夫	言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。 ○ 活動場面の設定や多様な学習活動の組み合わせについて ○ 学校図書館や情報機器を活用することについて
発行者	事 項 言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○ 多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されている。 例えば、3年「絶滅の意味」では、構成や表現の仕方を学び、続いて「編集して伝えよう」で新聞制作・発表をするために情報を収集し、編集会議を開いて検討・制作する活動が取り扱われている。
東 書	○ 学校図書館や情報機器を活用することについて適切に取りあげられている。 例えば、3年「読書会を開こう」では、話し合う本を読み、読んだ本についての感想を交換するといった学校図書館を活用した活動ができるよう工夫されている。 また、2年「調べて一枚レポートにまとめよう」や3年「将来の目標や計画を立てよう」などで、本や資料、インターネットなどを使って調べ、表現するといった学校図書館や情報機器を利用する活動ができるよう工夫されている。
三省堂	言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○ 多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されている。 例えば、3年「批判的に読む」では、文章を読む観点を学習した後、評論文「聞の文化」を読み、その後図表や資料を使い条件に応じて文章を書く活動、交流を通して考えを深める活動、学びを振り返る活動が取り扱われている。 ○ 学校図書館や情報機器を活用することについて適切に取りあげられている。 例えば、3年「ブックトーク」では、テーマにそって数冊の本を選び、聞き手が興味をもってくれるように紹介するといった学校図書館を活用した活動ができるよう工夫されている。 また、全学年の「複数の情報を関連づけて考えをまとめよう」や2年「ブレゼンテーション」などで、本や資料、インターネットなどを使って調べ、表現するといった学校図書館や情報機器を利用する活動ができるよう工夫されている。

教 出	言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○ 多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されている。 例えば、3年「AIは哲学できるか」では、具体例を基に説明文を書く活動が設定されており、論理の展開や構成を考えながら、考えの形成・記述・推敲した後共有するという活動が取り扱われている。 ○ 学校図書館や情報機器を活用することについて適切に取りあげられている。 例えば、3年「ピブリオバトルで本の世界を広げよう」では、おもしろいと思う本を持ち寄って、本の魅力をお互いに語り合うといった学校図書館を活用した活動ができるよう工夫されている。 また、2年「観点を明確にして伝える」や3年「構成を考えて主張をまとめる」などで、本や資料、インターネットなどを使って調べ、表現するといった学校図書館や情報機器を利用する活動ができるよう工夫されている。
光 村	言葉による見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○ 多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されている。 例えば、3年「作られた『物語を超えて』」では、具体と抽象の関係について学び、それらを活用して根拠となる情報を集め説得力のある構成を考え、スピーチを行う活動が取り扱われている。 ○ 学校図書館や情報機器を活用することについて適切に取りあげられている。 例えば、3年「読書を楽しむ」の「ブックトークをしよう」では、テーマを決めて本を集め、紹介するための話の構成をグループで考えるといった学校図書館を活用した活動ができるよう工夫されている。 また、2年「多様な方法で情報を集めよう」や3年「説得力のある構成を考えよう」などで、本や資料、インターネットなどを使って調べ、表現するといった学校図書館や情報機器を利用する活動ができるよう工夫されている。

項目	観 点
6 補充的な 学 習・ 発展的な 学 習	学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、自分の考えを深めたり伝えた りして、社会生活に生かすよう配慮されているか。 ○ 資料やコラムなど ○ 読書に親しみ、進んで学習や生活に生かすことについて
発行者	事 項
東 書	○ 巻頭の「学習の進め方・教科書の使い方」で、教科書の構成や、身に付けたい 力が示されている。また、「学びを支える言葉の力」や「文法解説」などで、学習 した内容について考えを深めたり、社会生活に生かしたりするよう配慮されてい る。 なお、「Dマーク」のあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見 ることができる。 ○ 「戦争・平和」「福祉・共生」「考え方・生き方」をはじめとして様々なテーマ 別に多様な本が「本で世界を広げよう」や「本の世界を楽しもう」で紹介されて いる。また、教材ごとに、「読書案内」で作者や教材のテーマに関連した本が紹 介されるなど、読書に親しみ、進んで学習や生活に生かすことについて配慮され ている。 ○ 巻頭の「確かな言葉の力をつけるために」で、教科書の構成や、身に付けたい 力が示されている。また、「読み方を学ぼう」のコーナーや、「社会生活に生か す」などで、学習した内容について考えを深めたり、社会生活に生かしたりする よう配慮されている。 なお、「二次元コード」のあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイト で見ることができる。 ○ 「生き方」「心」「言葉」「自然科学」「平和」「文化」をはじめとして様々な テーマ別に多様な本が「読書の広場 小さな図書館」で紹介されている。また、 教材ごとに、「私の本棚」で作者や教材のテーマに関連した本が紹介されるなど、 読書に親しみ、進んで学習や生活に生かすことについて配慮されている。 ○ 巻頭の「言葉の地図」で、教科書の構成や、身に付けたい力が示されている。 また、「言葉とは何か」「言葉の楽しみ」「日本語の特徴」と題する言葉をテーマ にしたコラムや「言葉の自習室」などで、学習した内容について考えを深めたり、 社会生活に生かしたりするよう配慮されている。 なお、「まなびリンク」のあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイト で見ることができる。 ○ 「表現／対話／思想」「自然／環境／科学」をはじめとして様々なテーマ別に 多様な本が単元ごとに「広がる本の世界」で紹介されるなど、読書に親しみ、進 んで学習や生活に生かすことについて配慮されている。
三省堂	
教 出	

光 村	○ 巻頭の「学習の見通しをもとう」「この教科書で学習するみなさんへ」で、教 科書の構成や、身に付けたい力が示されている。また、「文法を生かす」や「学 習を広げる」などで、学習した内容について考えを深めたり、社会生活に生かし たりするよう配慮されている。 なお、「二次元コード」のあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイト で見ることができる。 ○ 「中学校生活」「ファンタジー」「生き物・自然」「友達」「言葉」をはじめと して様々なテーマ別に多様な本が「本の世界を広げよう」で紹介されている。ま た、教材ごとに、「広がる読書」で作者や教材のテーマに関連した本が紹介され、 読書に親しみ、進んで学習や生活に生かすことについて配慮されている。
-----	--

【資料 2 国語】

○ 総ページ数

	東書	三省堂	教出	光村
1 年	342	358	354	340
2 年	346	358	366	336
3 年	354	342	354	324

○ 領域別の取り扱い箇所数及びページ数

	東書		三省堂		教出		光村	
	箇所数	ページ数	箇所数	ページ数	箇所数	ページ数	箇所数	ページ数
話すこと・聞くこと	16	59	15	62	19	59	21	55
書くこと	27	84	19	81	23	96	32	117
読むこと（文学的文章等）	31	206	31	225	27	262	34	200
読むこと（説明的文章等）	17	130	27	156	23	175	17	110
読むこと（古典）	12	71	17	86	13	68	13	74
言語（文法、語句、漢字等）	41	77	52	84	48	82	50	97
計	144	627	161	694	153	742	167	653

※おもな領域、事項でカウントし、3 学年分の合計とした。（付録、資料編等を除く）

○ 付録、資料編等のページ数

	東書	三省堂	教出	光村
付録、資料編等	346	393	261	314

○ 図書館・情報機器活用を取り扱っている箇所数

	東書	三省堂	教出	光村
図書館活用	8	8	3	8
情報機器活用	9	10	6	9

【資料 2 国語】

○ 紹介図書を取り扱っている箇所数

	東書	三省堂	教出	光村
紹介図書（冊数）	302	270	271	245

○ 古典現代語訳・解説付き、近代文学作品（小説）を取り扱っている箇所数

	東書	三省堂	教出	光村
古典現代語訳・解説付き	19	13	12	12
近代文学（小説）	5	4	5	4

○ 掲載している、主な古典文学作品

	東書	三省堂	教出	光村
万葉集	○	○	○	○
古今和歌集	○	○	○	○
新古今和歌集	○	○	○	○
竹取物語	○	○	○	○
枕草子	○	○	○	○
徒然草	○	○	○	○
平家物語	○	○	○	○
おくのほそ道	○	○	○	○
漢詩	○	○	○	○
論語	○	○	○	○
（史記、漢書、後漢書他含む）	○	○	○	○
古典芸能	○	○	○	○
（歌舞伎、狂言、古典落語等）	○	○	○	○
そのほかの掲載作品	伊曾保物語 御伽草子	古事記 川柳・狂歌	誹風柳多留	いろは歌

※「そのほかの掲載作品」は、付録、資料編等を除く。